

おお大勝利

平成 29 年度山東サッカー部報第 8 号 (7 月 6 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Y1前期最終節逆転勝ちで3年有終の美を飾る

7 月 1 日 (土) Y1 前期最終節の第 7 節山形中央 B 戦が山形市球技場でありました。山東では、3 年生のほとんどがこの節で引退。以前は県総体に敗れると 3 年生がすぐ引退しておりましたが、「リーグ戦をちゃんと一巡することがリーグ戦に出場する責任である」という考えの下、**ヨシタカ**の代 (山東第 64 回卒) から始まった/始めさせた伝統。それも今年で 5 年目となる (**ハレル**の代は山東第 68 回卒予定)。多くの進学校指導者から、「(山形でもトップ進学校の) 山東が (選手権まで) 残るようになったら、(他の進学校も選手権まで残しやすくなり) 助かるな～」とはよく言われるものの、リーグ戦一巡を区切りにするこのやり方を他の進学校がなかなか真似をしてくれない。まあ、それはともかく、県総体後、前節東海大山形戦とこの節山形中央 B 戦を戦い、3 年生の代が終わりを告げる。前節、内容と結果ともに不甲斐なかったのも、**最後くらい笑って終わりたい**。これは毎年切実に思うこと。ただ、実際最終節でちゃんと笑って終わった代って、最初の**ヨシタカ**の代と**ユウト**の代 (67 回卒) だけで、**コウタ**の代 (65 回卒) と**タイチ**の代 (66 回卒) では県総体で泣いて最後の戦いでも泣いて終わる、そんな悲しい結末だった。リーグ戦前期一巡って、モチベーションやコンディション面で結構難しいものがある。さて、今年の前期最終節はどうなるか。

さて、当日、環境的には絶好のサッカー日和。そんな中、監督である私は右足を若干引きずって歩いている。時期的に痛風の発作が起きやすい季節ではありますが、今年は痛風ではない。若手教員の意気込みに押され、クラスマッチサッカー競技、数年前にやっとの思いで離脱したのに今年教職員チームがまた出場することになった¹。もう高校生相手に動かたくないもので、嫌々ではありましたが、出場する以上張り切っちゃうのは性²というもの。しかし、初戦の相手は私が担任をしている 1 年 1 組。山東はいくら生徒から「大人げない」と言われようと、教職員チームが本気で勝ちに行く伝統あり³。この伝統の通り、私も担任クラス相手に点を決め、調子に乗っていましたが・・・後ろから削られ、筋肉を激しく痛め、私のクラスマッチ・・・終了。そしてその週の帯同審判は不可能ということで、7 月 1 日の副審は他の方に依頼した。これで、自分の試合に集中できるし、試合後、(帯同審判として他の試合にかかずらわることなく) 3 年生の最終ゲームの余韻に浸れるというもの。

試合には、**清野総監督・工藤先輩・後藤報道局長**といういつもの御三方がお見えになる。OB・OG も、分かっているだけで、**オオツキ・マサヒロ** (62 回卒)、**ホリゴメ** (63 回卒)、

¹ 今年のクラスマッチは、7 月 27 日～29 日の三日間、その後 30 日に体育祭があり、連続四日間も体育行事が続く。職員によっては「やり過ぎ」と言いますが、私はうれしいですね、この伝統。

² 高校生諸君、これをちゃんと読めますか？ 英訳すると It is natural that～となるのでしょうか。

³ 以前山東でテニス部顧問をしていた体育教師小林先生 (現在寒河江高校勤務) が作り上げた伝統かもしれません。

ヨーティ（65回卒）、**マツキ・ワカバ・ミツイ・ユート・フミキ・ハヤト**（67回卒）と大勢集まった⁴。保護者の方ももちろん多数お見えになっているし、保護者 OBOG の方もいらっしやっている。素晴らしいバックアップの下、キックオフ。

試合が始まると、展開は一進一退。左サイドバックで初先発、**3年黒豹ことリキ**からポジションを受け継いだ**新黒豹の1年オサ**も無難な立ち上がり。山中 B は、堅い守備から FW をスペースに走らせる堅守速攻のチーム。そのイメージは変わらないものの、中盤でのセカンドボールの奪い合いで勝てず、若干押し込まれがちな前半序盤。でも、決定的なシーンは作られておらず、「怖いのは長身選手が上がってくるセットプレーだな」などと高を括っていたら、**FW が DF ラインを横にウェーブしながら移動する動きを全く捕まえ切れず**、その FW に出されたスルーパスで**簡単に GK との 1 対 1 を許し**、またそのフィニッシュも冷静に決められ、双方の最初のシュート？で、山東早くも失点。**前半 5 分ほどの失点。3年生の引退試合という大切な試合なのに簡単に失点を許し、山形市球技場の半分が沈痛な雰囲気にも包まれる**。山東の救いとしては、失点があまりに早く焦る必要がなかったという点だけ。ベンチでは正直、最終戦に涙した過去の悪いイメージが頭に浮かび、弱気になってしまう自分がいました。

その後、山東の時間も多く、相手を押し込んで連携から相手 DF ラインをぶち抜こうとするも、スキル不足とフィニッシュの精度不足で、なかなか相手ネットを揺らせない。というか、山東、**相手が引いた時の悪い癖だが、最後まで崩そうとしてドリブル・パスを重ねるだけで、シュートの意識が足りない**。マークする相手の重心をちょっとずらしてすぐシュート、相手ブロックの前でのミドルシュート、そしてサイドを崩して低いクロスからのシュートが不足している。「前半のうちに同点にしたいがこのままでは苦しい」と感じながら時間だけが過ぎていく。すると 40 分過ぎ、**ボランチ 3年カイト**が負傷で一時ピッチを離れる。その隙に山東 CK ゲット。キッカーはいつもならカイトだが、いないのもう一人の**3年ボランチ アダチ**。このスイッチは好感触。だって、最近のカイト、なぜかまともに CK が飛ばず、前半もポストよりもニアサイドにいる**カンタ**に訳のわからないボールを蹴って、チャンスをフイにしていた。「カンタに出す方が悪いだろ～」とベンチでは怒っていただけに、アダチに代わって期待が持てる。すると、やはりイヤらしいボールが飛んで、ゴチャゴチャしたところを**3年 CB タイセー**が頭で押し込み同点。**2年漫才師タカヒラ**が「自分のアシストです」みたいな、手柄を横取りするようなカンタ的発言をしましたが、ベンチからすると、この得点のアシストはアダチ。するとアダチ、前半終了間際にも右サイドに流れてドリブルで突破し、相手 DF と GK の間に素晴らしいクロスを入れる。それを**3年ベジ**が相手の前に入ってニアで合わせるも、ゴールマウスには飛ばず逸機。**前半 6 分 4 分で山東という試合展開**。

後半は 7 分 3 分で山東という試合展開。相手に深いところまで侵入されたり、セットプレーで冷や冷やしたりするシーンはありませんでしたが、冷静に振り返れば決定的なシュートは打たせず。対して、山東は「それは決めないと」というチャンスを逃す。流れを変えたいと思い、県総体を含めここ何試合かの公式戦では全く精彩を欠いていたが最近の練習で好調だった**新キャプテン 2年フトシ**をオサの代わりに投入⁵。すると、この起用が当たったというべきか、**2年タカヒラの右斜めへのドリブルに対して左斜めに走り込んだフトシにタカヒラから絶妙スルーパス！ それを左足でゴール右隅に流し込み、山東逆転に成功！！**⁶ 1 点目もそ

⁴ ワカバなどは、わざわざ埼玉から、この試合のためだけに山形に来てくれた。有難う！

⁵ リキを左 SH から左 SB に戻し、SH にフトシを投入。

⁶ 後藤報道局長作成の HP では、別なところ（アダチが決定機を上を外したところ）が得点シーンとされていましたが、本当の得点シーンはフトシと相手 GK が交錯し「山中 GK は許してくれた」というコメントがあった箇所です。それにしてもその後のフトシの仁王立ちの写真は、得点者のポーズとしてカッコい

うですが、この2点目も決してズバツと決まった訳ではなく、かなりボテボテのシュートでしたが、ゴールはゴール。**値千金のゴール**が決まる。**いや〜フトシくん、この状況でよく決めてくれた!!!** まあ、上で「起用が当たった」と書きましたが、フトシを先発させていればもっと先に点が入ったかもしれない訳で、こちらへんは結果論に過ぎないところがある。その後も、山中Bの同点ゴールよりも山東の3点目の方が可能性のある展開でしたが、二つのゴールの意味合いが全く違うだけに、山中Bにちょっと侵入されただけで冷や冷や。「もうこうなったら、(3点目など言わないから)早く終わってほしい」と願う終盤。**最終試合とても安定したプレーと的確なキックで貢献した GK ハレルと、今期安定した守備で地味に貢献し続けた千葉の友達の一押し選手右 SB ヒロ**、CB タイセーとカンタ、左 SB リキで何とか守り切り、結局**2対1で逆転勝ち**。思えば今期、公式戦初の逆転勝ち。昨年新チームになってから含めても、逆転勝ちは初めてか。とすると、**最後の最後に、成長ぶりを見せてくれた**ということか。まあ、勝てば、いろんなことが言えるものです。

大応援ありがとうございました。ホント言うと、3年最後ということで、**3年生全員出したかった**。全員と言わないまでも、数多く出したかった。けど、逆転しなければならぬ試合ただけに、選手起用は難しかった。消化不良と言うか、不完全燃焼のまま終わった3年生もいたことでしょう。ただ、去年から選手に言い続けてきたことは、「出場するだけがすべてではない」「結果を残すだけがすべてではない」ということ。**試合に出場した人間のそれまでの活動だけが、称賛に値する訳ではない。結果だけが活動を正当化するのではない**。もしそうだとすれば、試合に出場できなかった選手のこれまでの活動は無駄だったということになるが、そんなバカな話はない。この学年で一番出場機会のなかった**癒し系スマイルと魅惑のバリトンボイスというギャップで魅力的な3年ネイマール**も、入部以来必死で練習してきたし、入部時と比べたら比較にならない程「腕を上げた」。そんな出場機会のない中腐らず頑張り続けたネイマールの活動、本当に天晴れだったと思う。ネイマールだけじゃない。**30歳になったらフレクする河北の星アオキや、人間性は県トシ級のザキヤマ、ストイックさと思いやりでは右に出る者のいないワタル**など、最終戦に出られなかったが、一生懸命活動し、選手としてかなり伸びたし、試合ではベンチや応援席から必死に声をかけ続け出場選手と一緒に戦った。こうした活動は、それ自体、尊いと思う。あっ、もう一人、出場しなかった3年生として、**マネージャーのナギサ**。「ナギチャン」と呼ばれ、保護者からも熱烈に支持を受けていた(特に森谷さんから)。ほんわかスマイルで、涙一つ見せず楽しく活動してくれた。3年生本当にありがとう。これまでお疲れ様。保護者の皆さまもお疲れ様でした。今後とも山東サッカー部をよろしくお願いします。

早速、今週末、息もつかせず県リーグがあります。新チームで戦いますが、**もしかして選手権まで残る選手がいるかもしれません**、昨年のユートに引き続き。まあ、その話は部報次号を乞うご期待、ということで、今週末も応援よろしくお願いします。

7月8日(土) Y1 第8節 VS 米沢中央 A 15:30~ @山形市球技場

3年生引退式 3年生の今後に幸あれ

7月3日(月)本校ゼミ1教室にて3年生の引退式が行われました。3年生13名は思いの言葉で自分の活動を締めくくりました。(以下、発表順)

- アダチ**・・・練習内容の理解に努め、練習のための練習にならないように心掛けた。経験のある方々の言葉に謙虚に耳を傾けることが重要。チームメイトから刺激を受けながら活動してもらいたい。
- カイト**・・・1年秋から筋肉の出力量を上げるトレーニングに打ち込み、効果があった。最近では低い出力量を持続させるトレーニングをしてきたが、完成に至らなかった。筋肉をうまく使う選手になってほしい。
- ネイマール**・・・(最初から涙ながら)仲間や先輩後輩に助けられて辞めずに活動を終わることができた。ぜひ辞めずやり切ってほしい。Bチームでやる気を維持するためには高い目的意識が問われる。
- タイセー**・・・小学校からサッカー始めたが山東でのサッカーが一番楽しかった。プレーで後悔しないのは無理だが、後悔を次に活かすことが重要。相手を飲むメンタルの強さがマッチアップではとても重要だった。
- ザキヤマ**・・・常に相手を想定した質の高い練習を心掛けてほしい。Bチームからの底上げが重要。部活動は長いようで短いから、悔いが残らないようにいまできることを精一杯取り組んでほしい。
- ベジ**・・・常に勝ちにこだわり、自分より強い上の選手・チームと対戦することに喜びをもて。出られない時期にも「自分だったら何ができたか」とイメージを膨らませて試合を観て高いレベルに照準を合わせた。ボールと触れ合う時間を大切に。
- ワタル**・・・基礎技術が足りなかったが、自分に一番足りなかったのは強いハートだった。狡賢いプレーなど、活躍するためにできたことはあった。勉強では誤魔化しをせず取り組んできたし、後輩もしっかり取り組んでほしい。
- ナギサ**・・・マネージャーが自分一人しかいなかった時期、現2年生は当初気が利かなかったが成長してくれてうれしかった。後輩のレナとアヤに感謝の気持ちを持って接してほしい。新入マネージャーの勧誘は春休みから計画的に。
- リキ**・・・ミスが多い選手だったが、ミスやミスへの叱咤に対して強いメンタルを持つことが重要。個人の課題を分析し、自主練習で補え。短期目標も設定しながら、思い出に終わらせずに結果を求めて活動してほしい。
- カンタ**・・・自分の考えをしっかりと持つことが重要で、しっかりと叱咤できるようになるし考えるよりも早く判断できる選手になれる。引退せずに頑張るが、大学サッカーにつながるためであり、自分にもガンガン要求してほしい。
- アオキ**・・・他人からの指摘は本質を突いていることが多いので、それを受け入れ、昨日の自分よりも今日うまくなることを目指して欲しい。サッカーを楽しむ気持ちは大切だが、楽しむためにも故障で長期離脱しないように。
- ヒロ**・・・ミスを引きずらないメンタルの安定が大切だったし、強気な姿勢を持つことが重要。試合で楽しむためにも練習は前向きに。仲良し子良しではなく、お互いのためを思って主張し合ってほしい。
- ハレル**・・・試合に出るために前向きに GK へのコンバートを受け入れた。試合を観て経験ある選手人から上手いプレーを学んだり、指導に来てくれるコーチや OB から技術を盗んでほしい。ミスは即失点につながるのだから、ミスによる失点を引きずった時期もあったが、悔しい気持ちを糧に頑張るしかない。感謝の気持ちをもって活動して行ってほしい。